

# 一 般 質 問

中里芳久議員

## 町内危険個所の調査 及び災害時の対応について

**議員** 各地で大雨災害が発生している。北陸、東海、近畿地方では土砂崩れ、浸水等、観測史上最多の被害が相次ぎ大規模な災害となった。全国に危険個所は52万個所あり国は改めて調査し検討すると報告されている。

当町も山間部、秋畑地区など危険と思われる場所の再調査を行うとともに、災害時における避難場所・災害警告・情報の発令方法など再検討していただき、町民が安心して暮せる町づくりをお願いしたい。

**町長** 昨年、秋畑ほか6地区において土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に指定されたことから、直ちに甘楽町防災マップを作成し全戸配付しました。この中で土



砂災害危険個所をハザードマップで表示し、避難所や災害への備えなどを記載しました。町のホームページでもご覧いただけます。なお、法律では概ね5年ごとに土砂災害警戒区域指定及び調査を行うとしています。

有事の際は、防災行政無線や安全安心メール、町のホームページ、広報車等で速やかに情報伝達を行ないます。



柳澤清次議員

## 甘楽町立中学校の 通学路は万全か

**議員** 町立甘楽中学校の地鎮祭が執り行われ、建設工事着工の運びとなり、平成28年4月には開校します。そこで、通学路について質問します。通学路には人家のない所が見受けられる。通学路全般をみて、危険予知のため防犯カメラの設置はどうか。

また、大手門より小幡忠霊塔手前までの道路には歩道が無い。雄川堰に蓋をし、歩道にしたらどうか。特に下校時が心配なので、都合のつく方に散歩など働きかけてはどうか。

**町長** 町では、通学路の安全確保に取り組むため「甘楽町通学路交通安全推進協議会(仮称)」を設置します。小幡地区の生徒の利用が予想される町道小船三ツ俣線には歩道と防犯灯を設置しましたが、防犯カメラも設置する方向で検討していきます。

雄川堰に蓋をすることは、増水時の危険性など考慮し困難であると考えますが、他に方策はないか土木事務所等と協議し検討します。下校時の対策は、各種団体等と連携し防犯パトロールの強化、防犯広報活動などを実施したいと考えます。



柳澤清次議員

## ホタルの放流について

同様の質問がありました  
が、その後どうなっ  
ているか。

**町長** ①平成7年に整備し、その後はホタルが乱舞し、多くの人を楽しませることができました。今後は、補助事業を活用しホタルが住める整備を検討します。

**議員** 昨今、楽山園内の小堰やせせらぎの道にホタルが放流され、ホタルの夕べなどの町民や観光客の心を和ませる催し物が実施されている。そこで、町の風物詩となるようホタルの数を増やすようにしたらよいと考え提案する。

①ふるさと館西側にある沢をホタルが生殖できるように整備する。  
②せせらぎの道の水場に、既存の小堰を利用して水を引き込み、環境を整備する。  
③以前にも同僚議員から

②せせらぎの道にも「せせらぎ愛護会」の皆様によるホタルの放流でホタルを数多く楽しむことができ、道の駅のイベントも盛大に行われています。せせらぎの道内の水場は、河川管理者と協議し、河川区域内での実施が可能であるか検討していきたいと考えます。  
③総合計画において里山整備事業が計画されています。



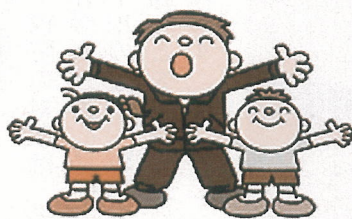
江原榮和議員

## 『いじめ防止基本方針』に基づく組織や施策の実施状況等について

**議員** いじめ防止対策については、本年1月29日に「甘楽町いじめ防止基本方針」を策定しているが、当該基本方針に基づくところの実施状況等をお聴きしたい。

①いじめ防止のための組織や施策の実施状況等を実効的に実施するための対策は講じているのか。  
②学校毎のいじめ防止基本方針の策定状況はどうなのか。いじめ防止のための組織は構成されているのか。  
③町内の学校におけるいじめ事案は、報告されているのか。

**教育長** ①「甘楽町いじめ防止対策委員会（仮称）」設置に向け協議しています。この委員会は「いじめ対策調査委員会」を兼ね、公平性・中立性



が確保された委員会となるよう検討しています。また、12月には「子どもいじめ防止フォーラム」を計画しています。  
②方針は全ての小中学校で策定し、各学校に応じた独自の取組みも行っており、そのための組織が校長以下養護教諭、スクールカウンセラー等で構成されています。  
③いじめ発生状況調査での報告はありません。

山崎愛子議員

## 甘楽町の薪能、 町内の中学生に無料で 鑑賞させたいかがでしょうか

**議員** 今年も楽山園の特設舞台で薪能が開催される。このような素晴らしい伝統芸能を是非とも町の中学生に鑑賞させたい。今年希望者の鑑賞を、次年度からは毎年の鑑賞の実現を。他市でも中学生全員を招待しているところもある。



したい。

**教育長** 座席の確保、交通手段などを考慮し、招待は現実的に無理であると考えます。

しかし、伝統芸能を鑑賞することは有意義なことであり、地域の民俗文化を未来へ継承するため、の後継者対策の一助となるものと考えます。

今後、できる限り子どもたちが日本の伝統文化にふれられるような機会を十分考えていきたいと思えます。

山崎澄子議員

## 空き家対策について

**議員** 全国的に空き家が増加という社会的現象が起きています。

当町でも空き家が目につくようになりました。現在、町の空き家率はどの位ですか。増えつつある空き家を社会的現象という事でかたづけざる事なく今から抜本的解決策をとることが必要ではないでしょうか。

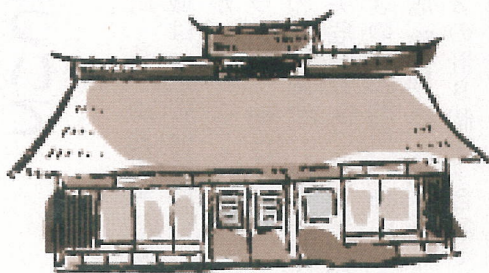
取り組みをうかがいます。

れる空き家については、有効活用を通して定住促進による地域の活性化を図れるような取り組みの検討や、国・県の方策に沿った対策を検討したいと考えています。

**町長** 平成24年度に群馬県居住支援協議会が調査した空き家実態調査では、当町の一戸建て住宅の空き家率は8.9%となっています。

なお、この調査では、民間の賃貸住宅等を含めた全体の空き家率は調査されていません。

今後、増加が見込ま



山崎澄子議員

### 選別農薬農法の ブランド化を

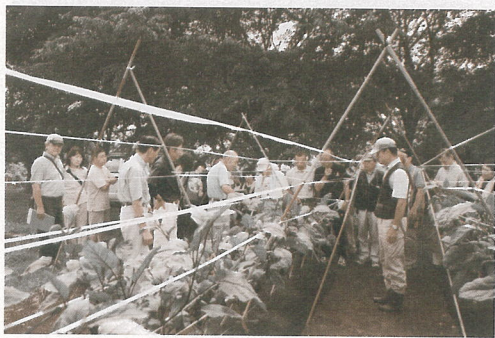
は12・3ha、JAS登録は19名で活動しており、平成25年度にはその活動と実績が「環境保全型農業推進コンクール」で栄えある最優秀賞に輝きました。

ふるさと農園でも有機農業研究会の力を借りて、有機農業による栽培管理を推進しています。

このように選別農薬農法を超えた有機農業に取り組んでいますので、「有機農業」を町としても推奨していきます。

**議員** 選別農薬農法でいち早く地域の栽培野菜のブランド化をすすめている地域があります。当町では有機栽培農家が先進的取り組みをしています。それとあわせて選別農薬農法をおすすめ甘楽ブランドをはかってはいかがでしょうか。お考えをお伺いします。

**町長** 町では、有機農業研究会が、有機農業に取り組み、現在は、会員は25名、認定を受けた圃場



佐俣勝彦議員

### 山地災害危険 区域について

**議員** 最近異常気象により、大きな被害が発生しています。今年に入っても、大雪、台風、大雨による山崩れ等発生。県内の山林のうち豪雨や地震により災害を引き起こす恐れなどがある「山地災害危険地域」は、近くに家屋や道路、耕作地がない災害を引き起こしかねない場所で、危険性や緊急性に応じて三段階に区分しており、危険性の高い順にA、B、Cのランクになっています。

**町長** 山地災害危険地域は「山腹崩壊危険地区」が、Aランク、Bランク、Cランクの順に8、8、1の計17箇所。「崩壊土砂流失危険地区」は、12、10、3の計25箇所。「地すべり危険地区」は、4、2、3の計9箇所。合計で51箇所が指定されています。着手状況は、「山腹崩壊危険地区」で14箇所、「崩壊土砂流失危険地区」で24箇所、「地すべり危険地区」で8箇所の整備が完了しています。

未整備箇所は、今後県と協議し、できる限り早急の対応をしていきたいと考えます。



山田邦彦議員

## ラウンドアバウトの設置について

**議員** 信号機のない丸い交差点（ラウンドアバウト）は、欧米に多くみられ、日本でも整備が進み始めています。姉妹都市のチエルタルド市でも多数導入されています。○震災時や停電時でも利用できる○交通事故の減少○時間短縮や・燃料の節約になる○導入したところには、視察者が多数訪れていると聞いています。観光客の増も期待できるのではないか。色々な面で、すぐれた交差点。ラウンドアバウト

トを導入してはいいかがでしょう。

**町長** 日本でも9月より道路交通法が改正され、全国で7都府県の15個所に設置され、本年度中に34個所に増える見通しです。

ラウンドアバウト（環状交差点）には、安全性の向上や維持管理コストの縮減など多くのメリットがあり優れた交差点であると考えますが、建設には多くの面積が必要であり、狭い町内の道路改良、また、建設に取り入れられるかの課題があるものと思います。

今後の道路計画交差点改良等を行う場合には研究を行いたいと思えます。



長野県飯田市のラウンドアバウト

山田邦彦議員

## 「世界遺産を作った町」のPRを

**議員** 富岡製糸場は、ソフト面（工女さん）も、ハード面（基礎の石、柱、煉瓦、瓦）も、甘楽町の役割は大変大きいのですが、①『富岡製糸場』（片倉製糸富岡工場）で働いた経験のある人の話を聞き教材にして活用を。

②情報をまとめた本などを作ってはどうか。③材料をどこから調達、製造したのかわかる表示（道路など）を。④煉瓦、瓦を製造した人たちは「日本で最初に『組合』を作り、8時間労働、日曜休日を実施していた」と伝え聞いています。検証を。⑤ダルマ窯を発掘・保存してはどうか。

**教育長** ①県や富岡製糸場総合研究センターなどが調査研究を進めており、その成果は教材とし



て活用できるものと期待します。②甘楽福島瓦協同組合と町でパンフレットを制作しました。③基礎石を採掘した連石山は、個人所有の土地であり、墓地や石仏が多く単に観光面からのPRには適しません。④今後、資料等を調べ史実が判明するよう努力します。⑤埋蔵文化財包蔵地として県教育委員会の許可等が必要で、今後、どういうことができるか研究をしていきたいと思えます。